

株式会社ジェネティックラボ

ジェネティックラボは、国立大学初のバイオベンチャーとして、遺伝子解析技術の開発を主体として事業を開始しました。2003年には病理検査部門を強化し、現在はその病理事業をコアビジネスとして臨床試験受託事業にも展開しており、個別化医療に向けた医薬品とそのコンパニオン診断関連技術サービスが柱であります。

2013年7月にはトランスジェニックグループに加わり、医療製品の基礎研究、前臨床試験、臨床試験、臨床診断までのシームレスなサポート体制の一翼を担っています。

私達は、『医療技術の進歩と共に歩む』を社是に掲げ、創造性と実行力に満ちた会社作りに努め、叡智と実践に裏打ちされたチームワークを駆使して医療の発展に貢献します。

会社概要

<所在地> 札幌市中央区北9条西15丁目28番地196 札幌ITフロントビル3F
<TEL> 011-644-7301
<URL> <http://www.gene-lab.com/>
<E-Mail> info@gene-lab.com
<資本金> 160,000千円
<設立> 2000年9月
代表取締役 高田 紘一

関連大学・教授等

北海道大学、札幌医科大学、旭川医科大学

主要製品・サービス

私達が遂行する医療業務

1) 病理部:

病理部はヒト生検や手術材料、液状細胞診検体、動物試料を加工処理して的確な標本を作成する病理部門と常勤病理専門医による病理診断部門から成っています。通常の病理診断・手術時迅速診断・細胞診、HPV typing、One Day Pathology、腎病理診断などに対応するだけでなく、複数標的分子に対する蛍光多重染色、標的分子の定量解析、ISH解析、レーザーマイクロダイセクションによる選択的組織採取、細胞・組織アレイ解析などの解析技術を駆使して幅広く最新の病理学的解析に対応する事が可能です。

2) 先端医療技術部:

先端医療技術部は GeneChip®による種々のトランスクリプトーム解析、低密度アレイ(Low Density Array)による難病の治療予後判定最適遺伝子診断セット、HPV Genotyping Kit の作成等の実績が有り、サスペンションアレイによる微量蛋白質レベルでのバイオマーカー探索・評価など、末梢血、特定組織、腫瘍細胞、動物細胞等あらゆるサンプルに対して適用、実施する事が可能です。

3) 病理解析技術と先端医療技術の融合によるイノベーション:

病理部と先端医療技術部がそれぞれ持つ最先端の疾患解析技術の融合により、実験動物からヒト生検・手術材料まで幅広く高品質の解析が出来るワンストップ・サービスの提供が可能です。これらの技術に習熟した研究者によるお客様の研究戦略への助言と提案、更には自ら悪性腫瘍や難治性疾患、感染症の新たな診断技術・診断薬の開発を行うと共に適切で効果的な個別化医療実現に向けて、遺伝子解析や新たなバイオマーカーの探索、治療効果判定、予後予測技術などのコンパニオン診断薬の開発を行い、診断・医療技術のイノベーションを実践してまいります。